

GDP-Man:Man3GlcNAc2-PP-dolichol α -1,2-マンノシルトランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-2356

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 アスパラギン結合糖タンパク質（N結合タンパク質糖鎖付加）の生合成は、ドリコール経路を構成する膜結合型糖転移酵素の一連によって組み立てられるドリコール二リン酸結合糖鎖供与体を利用します。Saccharomyces cerevisiaeのALG11マンノシルトランスフェラーゼは、脂質結合コアオリゴ糖の形成において2つの連続したステップを実行し、新たに合成されたオリゴ糖に $\alpha(1\rightarrow2)$ 結合で2つのマンノース残基を追加します。

別名 ALG11; ALG11 マンノシルトランスフェラーゼ; LEW3 (遺伝子名); At2G40190 (遺伝子名); gmd3 (遺伝子名); ガラクトマンナン欠損タンパク質 3; GDP-マンノース:グリコリビッド 1,2- α -D-マンノシルトランスフェラーゼ; グリコリビッド 2- α -マンノシルトランスフェラーゼ; GDP-マンノース:グリコリビッド 2- α -D-マンノシルトランスフェラーゼ; GDP-Man:Man3GlcNAc2-PP-Dol α -1,2-マンノシルトランスフェラーゼ; GDP- α -D-マンノース:D-Man- α -(1 $\rightarrow$ 3)-[D-Man- α -(1 $\rightarrow$ 6)]-D-Man- β -(1 $\rightarrow$ 4)-D-GlcNAc- β -(1 $\rightarrow$ 4)-D-GlcNAc-ジホスホドリコール 2- α -D-マンノシルトランスフェラーゼ

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.4.1.131

CAS登録番号 74506-43-7

反応 2 GDP- α -D-マンノース + α -D-Man-(1 $\rightarrow$ 3)-[α -D-Man-(1 $\rightarrow$ 6)]- β -D-マンノース-(1 $\rightarrow$ 4)- β -D-GlcNAc-(1 $\rightarrow$ 4)- α -D-GlcNAc-ジホスホドリコール = 2 GDP + α -D-Man-(1 $\rightarrow$ 2)- α -D-Man-(1 $\rightarrow$ 2)- α -D-Man-(1 $\rightarrow$ 3)-[α -D-Man-(1 $\rightarrow$ 6)]- β -D-マンノース-(1 $\rightarrow$ 4)- β -D-GlcNAc-(1 $\rightarrow$ 4)- α -D-GlcNAc-ジホスホドリコール

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。